
告白

黒木 悠貴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

告白

【Nコード】

N6905L

【作者名】

黒木 悠貴

【あらすじ】

僕は幼馴染の美羽が好きだった。

でも僕は告白する事が出来なかったんだ…

僕はその思いを美羽に伝えようと…

僕は伝えられない思いがある。

それは幼馴染に告白をする事。

幼馴染の名前は美羽。

小さい頃人見知りだった

僕に今でも優しくしてくれる

いい奴だ。彼女が、

皆に笑顔を振り撒いている姿を

見るとすごい心が痛い。

彼女の笑顔は僕だけに向けてほしい。

僕が伝えられないせいで

彼女は僕の夢の中にまで

出てきて、笑顔をふりまいてくる。

何回も告白をしようとした事はあった。

でもものすごく怖い…

この事を伝えたら

僕と幼馴染の関係が壊れてしまっんじゃないか？

その思いが頭の中をグルグル回っている。

でも言わなければいけない…

今日僕は幼馴染に呼ばれている。

僕は今日美羽にこの思いを伝えることを決め

美羽の家に向かった。

僕は今美羽の家の前にいる。

そして僕は緊張して

インターホンを押す。

ピンポン…

その音と共に

美羽の声が聞こえて来た。

そしてドアを開ける。

「こんにちわ…美羽」

「じゃあとりあえず上がって！ 朋矢君！」

そして僕は美羽

と一緒に美羽の部屋まで

歩いて行った。

今日は、美羽に告白するんだ！

気合入れていこう！

僕は早い方が言いと思い

部屋に着くと同時に言った。

「僕は美羽の事が好きだ！」

しばらく二人の間に沈黙が流れる。

美羽は呆気にとられてる様だった。

「えーと…ごめん…出来れば幼馴染でいてくれれば嬉しいんだけど…」

「嫌だ!」

美羽は即答でこう言った。

…やっぱり駄目か…

でも僕は今清々した気持ちだ。

「じゃあ…僕はかえ…」

僕は美羽に背を向けて

帰ろうとした瞬間

美羽は僕に抱き付いてきた。

「私は朋矢君とは幼馴染じゃなくて恋人にして欲しい」

僕は意味がわからなかった。

そして美羽は続ける。

「私ね…ずっと朋矢君が好きだったんだよ…」

「……………」

僕は無言になる。

「それでね今日朋矢君に私の思いを伝えようと思ったの」

美羽は抱きついたまま…声が虚ろになっている。

泣いているようだった。

「朋矢君と私って考える事が同じだね」

美羽は僕に笑った顔を見せてこう言った。

「朋矢君が先に言っちゃったから私も言うね」

「私…朋矢君が大好きッ」

（後書き）

この短編小説は、

FUNKY MONKY BABYS

の告白という曲が好きなので

この短編を書かせて頂きました。

感想はいつでも待っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6905/>

告白

2010年12月12日22時28分発行